令和6年度「全国体力･運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立　豊 新　小学校	児童数	76

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	16.54	18.97	28.54	43.38	50.20	9.71	152.30	19.49	52.91
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.70	18.39	35.28	41.42	37.06	9.93	146.91	11.12	53.13
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

本校児童の体力・運動能力は、全国平均および大阪市平均と比較して全体的に高い水準を維持している。特に、体力合計得点は男子52.91、女子53.13と高い数値を示しており、日常的に運動に親しんでいることが要因と考えられる。児童が運動場で活発に遊び、また地域のスポーツ活動への参加も盛んであることが、体力向上に寄与している。
一方で、長座体前屈、ソフトボール投げ、50m走においては、全国平均・大阪市平均を下回る結果となった。特に立ち幅跳びやソフトボール投げ、50m走は、日常生活で行う機会が少なく、経験の差が影響していると考えられる。今後、体育科の学習を中心に、意図的に柔軟性や敏捷性を取り入れた運動を増やしていく必要がある。
運動に対する意識調査では、「運動やスポーツが好き」と回答した児童の割合が、男子は97.1%と全国平均・大阪市平均を上回ったが、女子は69.7%と低く、全体としても平均を下回った。この結果から特に女子の運動への関心を高めるための取り組みを検討する。
また、一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合も全国平均および大阪市平均を下回った。今後、様々な取り組みを通して体力向上を図るとともに、継続して男女問わず運動に親しむ環境づくりを進めていくことが重要である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の授業での指導法の工夫はもちろんのことであるが、学校行事としてなわとび週間・かけ足週間（期間は２週間）を取り入れ、積極的に体を動かす機会を作った。学校全体として取り組むことで、児童は意欲的に活動でき、体力の向上を図ることができた。
来年度は、年度初めに実施するスポーツテストの数値と昨年度の全国平均と比較し、児童の課題となっている部分を強化できるように取り組んでいく。
児童の体力向上を目指し、体育の学習を通しながら柔軟性や敏捷性を伸ばせる指導法の工夫をしていく必要がある。
今後もスポーツテスト、なわとび週間、かけ足週間などの体育的行事や取組を継続するとともに、夢授業等の体験活動を通して運動やスポーツに興味・関心が持つことができるように指導しながら、家庭・地域とも連携して自主的に進んで運動ができる環境づくりを進めることが重要である。